

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾 湯野		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚支援や構造化された環境づくりが丁寧に行われており、段差の少ない設計や分かりやすい表示など、子どもが見通しを持って安心して過ごせる環境が整っています。事務所が中央にあり見守りやすい配置も強みです。	支援前後の打ち合わせや日々の情報共有を通じて、チームで支援の確認・振り返りを行っています。PDCAを意識した改善が継続されています。	利用人数に応じたグループ分けや部屋の使い分けを継続し、窮屈さを感じない環境づくりを進めます。
2	アセスメント・モニタリング・個別支援計画作成が非常に丁寧で、児発管を中心に保護者ニーズや子どもの実態を反映した計画が作成されています。職員間での共有体制も整っており、計画に沿った支援が安定しています。	活動プログラムが固定化しないよう、子どもの意見も取り入れながら企画を行っています。市のイベントや他事業所の取組も参考にし、変化のある活動づくりをしています。	保護者への訓練・安全対策の周知を強化し、安心感を高めていきます。
3	保護者満足度が極めて高く、「安心して通える」「楽しみにしている」「特性理解が深い」との声が多く見られます。連絡帳・コドモン・送迎時の丁寧な情報共有が信頼関係につながっています。	安全管理体制が充実しており、各種マニュアル整備、避難訓練、BCP、ヒヤリハット共有、虐待防止研修を継続しています。	職員間共有の時間確保や振り返り機会を増やし、支援の質をさらに高めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が多い日や高学年利用児が多い場合、運動スペースに狭さを感じることがあります。	施設規模と利用人数のバランスによるスペース制約があります。	時間帯や活動内容に応じた人数調整・空間調整を継続します。
2	正社員人員をもう1名確保できると、より安定した体制になるという認識があります。	送迎体制との兼ね合いで、職員の早出対応が必要になる場合があります。	職員体制の強化や配置工夫を進め、安定した支援体制を整えます。
3	地域交流や地域住民参加型の取組は、防犯面の配慮から慎重になっています。	テナント施設であることから、防犯面の配慮が必要です。	安全対策を維持しつつ、可能な範囲で地域との関わり方を検討します。